

発行・Pearl Memorial）ソウルキャリア（　　発行日・2026年4月
1日　　発行人・佐藤拓也・佐藤美菜

「巻頭言」境界線から――

はじまりの春に

マウイの風は、いつも何かを運んできます。2023年のあの夏、ラハイナを襲った炎は私たちの家も奪いました。でも、あの教会で出会った人たちの手は、私たちに新しい境界線を見せてくれました。システムの外「に立っていた私たちに手を差し伸べてくれた人たちは、」システムの内側で、その限界を知っている人「でした。あれから3年。私たちは」境界線を越える「ことを仕事にしました。遺骨を故郷に届ける。記憶をクオーツガラスに刻む。そして今こうして言葉を刊行物として残すことを始めます。このニュースレタ―の1部は、国立国会図書館に届けられます。つまり、あなたが今読んでいるこの文章は、日本の公的なアーカイブに半永久的に保存されます。」誰かがここにいた「ことを残す――これが私たちの仕事です。」このニュースレターそのものもその実践のひとつです。春。はじまりの季節に、最初の一歩を。　佐藤拓也

ソウルキャリア便り

ある帰郷の記録――K家の物語

※ご本人の許可を得て、一部を匿名化して掲載しています。口サ
ンゼルスに暮らすKさん)70代(から連絡をいただいたのは、昨年の秋でした。「父の遺骨の一部を、祖父の墓がある九州に届けたい」Kさんの父は1940年代にハワイから本土に移り、そのまま日本に戻ることはありませんでした90歳で亡くなるまで、」いつか帰る「と言い続けていたそ

うです。 私たちはKさんと一緒に九州を訪れました。古い墓地で見つけた墓石には、Kさんの祖父の名前が苔に覆わしながらも刻まれていました。 墓前で手を合わせたKさんが言つた言葉が忘れられません。「父は帰つてきました。ありがとう。」「 私たちは遺骨を届けるだけでなく、墓地の清掃を行い、地元の寺院にも挨拶をしました。住職は快く迎えてくださいり、改めて供養の読経をあげてくださいました。この春も、3件の帰郷のご依頼をいただいています。一つひとつ、丁寧に。」

トキコエニュースレターニュース

1000年残る記憶——クオーツガラスへの刻印
トキストレージのクオーツガラスは、レーザーで情報を刻み込んだ合成石英です。自然劣化に対する耐性が極めて高く、理論上1000年以上にわたって情報を保持します。

今季の取り組み

- ・伊勢神宮への奉納.. 2026年の正式奉納に向け、準備を進めています。奉納するクオーツガラスには、これまでにソウルキヤリアがお手伝いした全ての帰郷の記録が刻まれます。・QRコードの進化.. クオーツガラスに刻まれたQRコードから、故人のデジタルメモリアルページにアクセスできる仕組みを改良しました。オフグリッド環境でも閲覧できるよう、Starlinkとの連携も検討中です。・新サービス「パールソープ」.. 故人の思い出を香りに込めた石鹼を開発中。クオーツガラスとセットで提供する「記憶のパッケージ」「として展開予定です。

コラム：なぜ石英なのか

紙は数百年で朽ちます。デジタルデータはサーバーが止まれば消えます。でも石英） SiO_2 （は地球上で最も安定した鉱物のひとつです。火山の中でも、深海でも、石英は形を保ちます。存在の証明「を託すのに、これ以上の素材はありません。」

バウンダリストの窓

「システムの外」から見えるもの

バウンダリストとは、境界線上に立つ人のことです。システムの外にいる人。あるいはシステムの内側にいて、その限界を見ている人。この春、私たちは「存在証明の民主化」「というテーマに取り組んでいます。住所がない。戸籍がない。保険証がない。——日本にも、アメリカにも、」存在していないことになっている人「がいます。行政の窓口で」該当なし「と言われた経験はありますか？」あるいは、窓口の向こう側で「規則ですから」「と言わざるを得なかつた経験は？境界線の両側にいる人たちが出会うとき、何かが変わる可能性が生まれます。次号では、実際に」存在証明の壁「に直面した方のインタビューを掲載予定です。

トキコエニュースレターの台所

マウイの spam むすび——境界線上の味

ハワイのコンビニに行くと、必ず見つかるのがspam むすび。日本のおにぎりとアメリカのspam 缶詰が出会って生まれた、まさに「境界線上の食べ物」です。ラハイナの火事の後、避難所で最初に配られた食事のひとつもspam むすびでした。

レシピ）4 個分（

材料・ごはん（2合分）少し固めに炊く（・spam 1 缶（薄切り4枚）・焼きのり4枚）おにぎり用（・醤油・大さじ1・みりん・大さじ1・砂糖・小さじ1 作り方1・スパムを1mm 厚に切り、ライパンで両面をこんがり焼く2・醤油・みりん・砂糖を混ぜたタレを絡める3・spam 缶を型にしてごはん→spam→ごはんの順に詰める4・海苔で巻いて完成 マウイの風に吹かれながら食べると、日本とハワイの境界線が溶けていく気がします。

お知らせ

パトロンプログラム

毎号お届けしていきます。・ Visionary ペーロン：印刷版 + 名前
掲載 + 年間報告書・Builder ペトロノ：印刷版 + 名前掲載
・ Starter パトロノ：PDF版 + 名前掲載 詳しくは Patron プロ
グラムのページを「」覗くください。

寄稿のお願い

」境界線「にまつわるあなたの経験を、聞かせてください。
。次号以降で、読者の声を掲載するコーナーを設ける予定で
す。

次号予告

Vol.2 — 2026年夏号) 2026年7月発行予定 (2023年
特集：レジリエンス——ラハイナから3年
8月のマウイ島火災から3年復興の現在地と、災害が見せ
てくれた」境界線「について。

奥付

誌名トキコエニュースレター / Tokikoe Newsletter 卷号 Vol.1) 2026年春
号 (発行日 2026年4月1日 発行 Pearl Memorial) ソウルキヤリア (発
行人 佐藤拓也・佐藤美菜 所在地 Maui, Hawaii, USA 連絡先) メールアドレス
(印刷) 印刷所名 (ISSN申請中) 本誌は国立国会図書館に納本
されていきます。

Crossing boundaries through resonance. 共鳴で境界線を越える。 次号は20
26年夏号) 7月発行予定 (です。